



ベンガルトラの同居はじまる

2頭のベンガルトラがいます。1頭は平成23年12歳になるオスの「アキラ」。



アキラ



サワ

もう1頭は平成22年の6月に地元の成沢小学校の子供たちが校内募金をして寄贈してくれたメスの「サワ」。平成年生まれで、やってきたときはまだ1歳。しかも人工哺育で育てられたため人間にはなついているものの、「アキラ」の前ではおびえて、とても一緒にできる雰囲気ではありませんでした。「サワ」は自分のことをトラとは思っていないようで、同じトラが怖い様子が見てとれます。そこで当分は時々オリ越しにお見合いをさせながらの別居（グラウンドには交代で出す）生活することになりました。

寝室は観覧通路から良く見えるた、人間が通ると「サワ」は甘えたように立ち上がって体をオリにこすりつけたり、トラとは思えないようなかわいらしい声で鳴いたりしていました。



甘えるサワ

しかしいつまでもそうした状態は好ましくないので1年を過ぎたこの夏、思い切って同居（グラウンドと一緒に出す）させることにしました。始めは「サワ」を出し、しばらくして「アキラ」を出すことにしました。最初はお互い遠巻きに様子をうかがう格好でしたが、その後「アキラ」が吠えながら「サワ」を追い、ついにつかみかかり「サワ」を押し倒すような行動にでました。



はじめてのスキンシップ

「アキラ」はお近づきのしるしだったのか、あるいは自分の縄張りに入ってきたものを蹴散らすつもりだったのかはわかりませんが、それ以後は、お互い距離を保ちながら衝突することなく、ぎこちないながらも同じグラウンドで過ごしています。ある人は「ギクシャクした関係だね」と言ってましたが、確かによく言われる「家庭内別居」のような感じです。



何話したらいいの？って感じ

今では「アキラ」のほうは大丈夫ですが、「サワ」があまり近寄りたくない雰囲気です。まあ、いずれ距離も縮まるとは思いますが、この「ギクシャクした関係」のトラを観察するのも、どこかの家庭のようで（ウチか・笑）またおもしろいかもしれません。



微妙な距離関係

こちらのサイトもどうぞ：[どうぶつのに](#)（新しいウインドウが開きます）

（平成23年9月4日）

2011年9月4日